



好評につき今年度2回目の開催！ YADによる1日限りの高校生カフェ

3月1日矢板ふるさと支援センター TAKIBI で、高校生団体「YAD」による「ひなかふえ」がオープンしました。今回はひなまつりをテーマに、市内飲食業者「P-FILE」「じみじみ」監修のもと、地元食材を使用した「ひなかふえプレート」「シロップサイダー」などを開発。食べた方は「3色のベビーカステラがひなまつらしく、かわいくておいしかった」と笑顔で話しました。



▲ YAITA ALL DIRECTIONS (YAD) の皆さん

消防団春の総合訓練を実施 市民参加型で地域防災力を強化

3月2日矢板小校庭で、消防団春の総合訓練が行われました。行政区長ら市民も参加し、災害現場を想定した避難所運営や応急救護の訓練を行ったほか、初めての試みとして、傷病者の緊急度や重症度に応じた優先度を決定するトリアージ訓練も行いました。塩谷病院DMATの一瀬副院長は「災害時、最初に現場にいるのは市民。そこで何が出来るかはとても重要」と講評しました。



▲ トリアージ訓練。優先度別に異なる色のテープを貼付

食べて、聞いて、矢板の魅力に触れる1日 第2回「やいたび」開催！

2月22日、市内人気スポットを巡る移住者交流会「やいたび」が開催されました。富川酒造店での見学・試飲のほか、SUZUKI VILLAGE での交流会ではカフェじみじみによる矢板産食材を使った昼食などを楽しみました。参加者は「移住者の体験談や地元の方の話を聞いたり、移住を検討している方と悩みを共有したりすることができ、充実した1日になった」と話しました。



100円でA5ランク黒毛和牛を堪能！？ 矢板高校×矢板おむすび エシカル消費イベント

2月26日矢板ふるさと支援センター TAKIBI で、和牛甲子園入賞牛と矢高放牧和牛が味わえる試食会が開催されました。これは、矢板高校から「矢板おむすび」への食材提供により実現したもので、地域の活性化や雇用などに配慮したエシカル消費の推進を目的としています。参加者は「脂がのっているのにあっさりしていておいしい。高校生が育てたと聞き驚いた」と話しました。



▲ 矢板高校農業経営科・農業技術部畜産班の皆さん



アデコさん、おいしい給食をありがとう！ ふるさと納税を原資に地産地消給食を提供

3月に市立小中学校で、地元産豚肉を使用したカレーと生姜焼きが給食で提供されました。企業版ふるさと納税としてアデコ（株）様からいただいた寄附金を原資に給食をさらにグレードアップしたもので、児童・生徒からは「お肉がいいからカレーのうまみがすごい！」「生姜焼きが本当においしい。100点満点の給食」と喜びの声が上がりました。



持続可能な農業を目指して 和氣 輝さん、県農業士に認定

2月21日市役所で、知事から農業士の認定証書を受けた和氣 輝さんが市長を表敬訪問しました。塩田地区で酪農と和牛繁殖を営む和氣さんは、地域のモデルとなる農業経営を実施しているほか、後継者育成などにも取り組み、地域農業の持続的な発展に貢献していることが評価され、認定されました。和氣さんは「今後も地域農業の活性化の一助になれるよう、引き続き努力していきたい」と話しました。



▲ (左から) 森島市長、和氣さん

うちの子ども結婚できました！

独身のお子様の結婚相談

あきらめないで！まずはお気軽にお悩みご連絡くださいませ。

結婚相談所ムスベル宇都宮 ☎ 028-611-3545

推薦「高原山の恵み」 舟橋 哲次



入選「藤の花咲く頃」
田代 洋子



入選「春よ来い」
代田 隆



入選「静寂参道」
矢嶋 健次



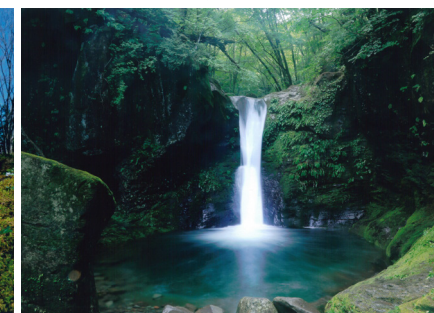
佳作「朱緑の頃」
小菅 祥一



佳作「秋空に映える紅葉」
中西 弘幸



佳作「春ですよ山縣さん」
沼野井 賢一



佳作「台風が去って」
井上 賢



佳作「長峰公園 早朝の絶景」
大谷 章

第43回「やいたの四季」観光写真コンテスト

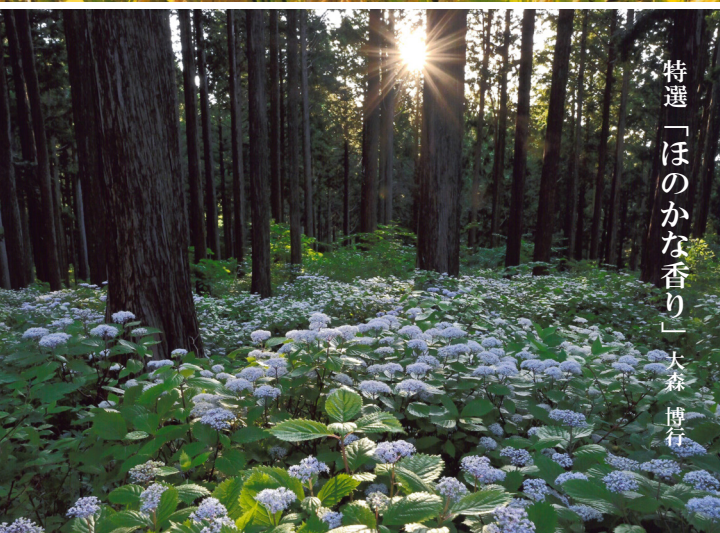
市内・県内をはじめ、県外の方も含む51人から、135点の応募がありました。
入賞作品は、市ホームページにも掲載していますので、ぜひご覧ください。
問い合わせ／秘書広報課 ☎（43）3764



詳しくはこちら

ユース賞「帰り道」
河越 瀬成

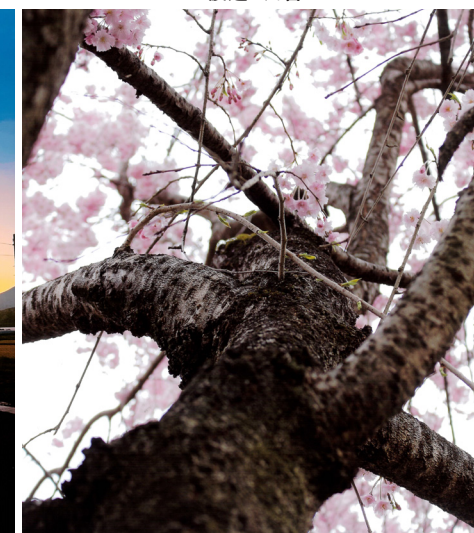
ユース賞「太い枝から」
渡邊 公喜



特選「ほのかな香り」 大森 博行



特選「後継者」 白石 哲夫



ユース賞「午後7時」
高田 結

